

2025 年 8 月 3 1 日 聖霊降臨節第 1 3 主日礼拝次第

主日礼拝

前 奏 (黙 想)

招きの言葉 コロサイの信徒への手紙4章 2～3 節(新約 372 ㊦)

讃 美 歌 425(こすずめも、くじらも)

主の祈り <A>(讃美歌93-5)

詩 編 交 読 詩128編 1～6 節(交読詩編 148 ㊦)

聖 書 創世記1章 24～31 節(旧約 2 ㊦)

祈 禱

讃 美 歌 493(いつくしみ深い)

説 教 「神は言われた『光あれ』」田中耕大教師(平和学園)

讃 美 歌 406(聖霊ゆたかに)

信 仰 告 白 使徒信条<A>(讃美歌93-4)

献 金

讃 美 歌 88(こころに愛を)

派 遣 祝 福

後 奏 (黙 想)

報 告

※讃美歌は原則として全節を歌います

聖 書 創世記1章 1～5 節

天地の創造

1 初めに、神は天地を創造された。2 地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。3 神は言われた。

「光あれ。」

こうして、光があった。4 神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、5 光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。

主の祈り A(讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

讃美歌425番

1. こすずめも、くじらも、空の星も、
造られた方を たたえて歌う。
2. 大地震も、嵐も、稲光も、
造られた方に 助けを求める
3. 七色に輝く 虹と十字架、
空の墓を見て、感謝献げよう。
4. 飢え、渴き、病と、浪費の世に、
造られたものは いやし求める。
5. 隣人と敵との へだてはなく
神は愛と平和 お与えになる。
6. いつの世もおられる 愛の神は、
未来の世代の 生きる喜び。

讃美歌493番

- 1 いつくしみ深い 友なるイエスは
うれいも罪をも ぬぐい去られる。
悩み苦しみを かくさず述べて、
重荷のすべてを み手にゆだねよ。
- 2 いつくしみ深い 友なるイエスは
われらの弱さを 共に負われる。
嘆き悲しみを ゆだねて祈り
つねに励ましを 受けるうれしさ。
- 3 いつくしみ深い 友なるイエスは
愛のみ手により 支え、みちびく。
世の友われらを 捨てさるときも
祈りに応えて なぐさめられる。

讃美歌406番

- 1 聖霊ゆたかに 恵みをもたらす。
神に背を向けて 歩む人にさえ。
- 2 祈る群れの上 聖霊はくだり
和解の言葉を 語り出す奇跡。
- 3 闇の中でさえ 聖霊は光り
混乱の中で 歩みを導く。
- 4 主なる聖霊と 出会う者は皆
石の心さえ 脈打ち始める。
- 5 聖霊を受けて イエスを主と信じ
十字架の勝利を 伝えよ、世界に。
ハレルヤ。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし
日ごとのわざに つかわしたまえ